



日本共産党区議会議員
 こんにちは
 伊藤和彦です

自宅・足立区花畑6-7-23
 足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)
 日本共産党議員団・直通・3880-5770~1
<http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html>

特定健診 無料で実施決まる

日本共産党の2008年度 予算要望に区長回答



1月10日、区議団全員で、区長室にて近藤区長から予算要望の回答を受ける。右から針谷・ぬかが・鈴木・大島・伊藤・さどうの各議員

一月十日、日本共産党区議団の新年度予算要望に対して、区長から回答がありました。新年度の一般会計予算規模は2170億円で、予算全体のプレス発表は28日です。

区議団の予算要望に対し、「竹北小跡に特養ホーム(100床)」「学童保育室は放課後子ども教室と合体しないで守る」「障害者の小規模作業所は施設の建て替えとあわせて増設する」「精神障害者福祉手当の創設のために都に要望し全体で取り組む」「あだち若者サポートステーションの国の補助が打ち切られたが、区独自に補助をして力を入れる」「商店街支援としてAEDを設置する」「公園の遊具対策は、予算を2倍にし、維持管理の強化と老朽化した遊具などの新設・更新をすすめる」「非常勤職員だけ

一月十日、日本共産党区議団の新年度予算要望に対して、区長から回答がありました。新年度の一般会計予算規模は2170億円で、予算全体のプレス発表は28日です。

区議団の予算要望に対し、「竹北小跡に特養ホーム(100床)」「学童保育室は放課後子ども教室と合体しないで守る」「障害者の小規模作業所は施設の建て替えとあわせて増設する」「精神障害者福祉手当の創設のために都に要望し全体で取り組む」「あだち若者サポートステーションの国の補助が打ち切られたが、区独自に補助をして力を入れる」「商店街支援としてAEDを設置する」「公園の遊具対策は、予算を2倍にし、維持管理の強化と老朽化した遊具などの新設・更新をすすめる」「非常勤職員だけ

健診率の向上 区民の健康を守るため
特定健診は無料で行うべきの世論に、区は無料実施を決断

今年四月から始まる「特定健診」は足立区では有料化を検討していましたが、四〇歳から七

四歳までの健診を「無料で実施」することが決まりました。

日本共産党は区民の健康を守る立場から、無料を維持すべきだと繰り返し要望してきました。九月に区長あてに要望書を提出、代表質問でも要求しました。十月決算委員会で要求。十一月区民説明会、十二月代表質問で再度要求。一月予算要望回答時に改めて強く要求しました。

医師会も反対。他の区も無料化は区民に朗報です

医師会も「有料化して健診率が上がるはずがない」として反対しました。他の区も無料が基本で有料化を打ち出している区

はありませんでした。「特定健診」の目的は区の資料を見ても「医療費の伸びを抑える」つまり、削減するです。医療費を減らすには病気になることが一番でそのためには健診率を上げることが重要です。現在25%を5年間で65%(2.6倍)に引き上げるという計画案を区は出しています。

これまで基本的に無料だった健診が有料でなく、特定健診、高齢者健診は無料と決まったことは区民にとって朗報です。



成人の日式典に先立ち、日本共産党区議団として街頭から新成人に訴えました。1月14日

「区民の健診を有料にしないで！」

みなさんのご意見を届けて奮闘しました

パブリックコメント（区民の意見徴収）の結果

38件の意見が区に届けられ、そのほとんどが「区民健診を有料にしないで！」でした。

（38件の文書意見は、他のパブリックコメントと比べて大変多い件数で、要望の強さのあらわれです）

寄せられた区民の意見（抜粋）

●無料で受けられるから健康審査ができるのです。私の父は足立区の健診で心臓の心電図に異常が見つかり病院で肺疾患とわかり、腕から管（カテーテル）を入れ心臓の血管をみて原因がわかり、今薬を飲んで治療中です。ぜひ健診を無料のままにしてください。

●健康診断は区民が受けられるように無料にしてください。私は健康診断で10年前肺ガンが見つかりました。手術をして現在は健康にしていますが、あの時健診を受けていなかったらガンも進行し、現在はなかったと思います。大きな会社に働いていないと区の健診が健康管理の源だと思えます。

区の健診はあくまでも無料をお願いします。

●老後の生活と健康を守るべき政治が、これ程、不安を与えている時代はありません。自治体の本当の仕事として「特定健康審査」を有料化することは許されません。

民間の健康審査は高額であり、これからは進んで健診を受ける人がますます少なくなるでしょう。病気になってギリギリに病院に駆け込むのであれば、さらに病院等への支払いの滞納など多くなるでしょう。病気になる前の「健康審査」こそ良策と思われる。

●年に一度の健診を有料にしないで下さい。70歳を目の前にして、健康で趣味やボランティアで充実した生活ができるのは早期発見、早期治療のおかげと感謝しています。もし有料になったら病気でもないのにお金を払って医者にかかることはないでしょう。

自覚症状があつてからでは手遅れになって、自分自身はもちろん、家族も社会も負担が大きいです。節約のためにも無料の健診を続けてください。お願いします。

区民の健診がこう変わります

	今まで	今年4月から	日本共産党の主張
名称	生活習慣病予防健診	特定健診（40～74才まで）	
費用	無料	他区は無料のままなのに有料化を打ち出す	有料にするべきではない
項目	血液検査+心電図眼底、貧血検査・X線も検査	心電図・眼底・貧血検査を受けられるのは全体のわずか5%。X線は検討中	心電図・眼底、貧血検査・X線も従来どおり検査項目に入れるべき
がん検診は?	大腸・胃がん・肺がんはセットで受けられる	受診票も仕組みも別々（時期が重なるように工夫する）	同時にガン検診も受診できるようにして、受診率を上げるべき
健診対象は?	全区民（区の責任で実施）	国保加入者だけ（各健康保険単位で事業者が健診を実施）	これでは、例えばサラリーマンの扶養家族は、夫の勤め先の健診を受けに行かなければならなくなる。足立区で受診できるようにすべき。
75才以上の高齢者は?	74才以下と差別なく受けられる	「後期高齢者医療制度」の任意項目として健診を実施。74才以下と同じように受診票も別々（時期が重なるように工夫する）	74才以下と同じように受けられるようにすべき。
個別通知は?	「要治療」ではない前年度受診者のみ	対象者全員に受診票を送付	長年全員への個別通知を要求



区環境基本計画について申し入れする区議団(2008年1月17日・区長室)



UR都市再生機構の住宅ストック再生・再編について、調査する伊藤議員と区議団(2008.1.22、衆院議員会館にて)

自民・公明政権が一昨年強行した「医療改革」により、区民の健診が大きく変わり、改善されず。政府は「有料にして2250円（3割）の費用にするべき」といっています。ただでさえ足立区民は他区民に比べて健康を書している人が多いのに、そうなっ

たら大変です。この特定健診実施計画について、パブリックコメント（区民の意見徴収）が行なわれ、沢山の意見が寄せられました。日本共産党は、16日に行なわれた区民委員会で区民の声を突きつけ、区に迫りました。